

普及活動情勢報告（令和３年６月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

南国市土地利用型園芸農業検討協議会の開催～南国市スマート農業キックオフ！～



会議風景

５月３１日、南国市土地利用型園芸農業検討協議会がＪＡ南国営農経済センターで開催されました。南国市のスマート農業推進のための話し合いが行われ、生産者、ＪＡ、高知大学、南国市、ＩＴベンダー３社、県関係者２２名が参加しました。

今回は、農業改良普及課が中心となって、ドローンで撮影したキャベツ画像からの欠株判定、欠株数集計及び収量予測の実証とこれに係るデータ受け渡し手順と方法、会の開催予定を協議しました。

農業改良普及課は、今後も生産者と関係機関の連携を図りながら、スマート農業の取組を推進していきます。

集落協定からのステップアップを ～南国市中山間地域等直接支払制度説明会～



集落営農の取り組みを説明する普及指導員

５月２６日、南国市のＪＡ高知県久礼田支所で中山間地域等直接支払制度説明会が開催され、１１名の代表者が出席しました。

農業改良普及課からは、集落戦略の一つとして集落営農の取り組みを提案しました。参加者からは「兼業が多く農地も狭いから集落戦略は困難」といった声もありましたが、「コロナ後には先進地視察に行きたい」といった意見も出されました。

今後は関係機関と連携し、集落協定からステップアップして集落営農に取り組んだ地域の事例を紹介するなど、集落営農活動のきっかけづくりに繋げていきます。

シシトウ・ピーマンをもっと消費宣伝しよう！（女性農業者の活躍促進）



計画検討への助言を行う普及指導員

６月３日、シシトウ、ピーマンを生産している女性農業者４名は、レシピ動画などの消費宣伝活動に向けたツールづくりについて検討しました。農業改良普及課は、レシピの検討から動画作成までの流れや年間計画などへの助言を行いました。

女性農業者は、既存のレシピ動画などを参考にしながら、レシピのテーマやどのような動画を作成するのか、活動しやすい時期に集中して取り組むことなどを話し合い、計画を立てました。

農業改良普及課では、女性農業者の取り組みが部会等でも活かされ、活躍促進につながるよう今後も支援を継続していきます。

J A 香美地区露地・雨よけシシトウ栽培が始動！



現地検討会のようす

6月15日～17日、J A 高知県香美地区露地・雨よけシシトウ現地検討会が物部、香北、土佐山田でそれぞれ開催され、3日間で生産者13名が参加しました。

農業改良普及課からは、かん水や誘引などの初期栽培管理について説明しました。

今年は梅雨入りが早かったため、日照不足や低温により露地栽培の生育が遅れています。参加者からは「芽かきのタイミングをどうしたらいいか」や「ヨトウムシの防除に苦慮している」といった声が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してシシトウの安定生産に向けた取り組みを支援していきます。

お米たくさんとれるかな～小学校で出前授業を開催～



次々と質問をする児童

5月27日、香美市立片地小学校の5年生14名を対象に水稻出前授業を行いました。農業改良普及課は生産者と協力して、児童がこれから取り組む田植え、草取り、稲刈り等の米作りについてクイズを交えながら説明しました。

児童は終始熱心に聞き入り、田んぼの害虫・益虫についてや農薬の種類、‘よさ恋美人’とはどのようなお米か、など次々と質問が出されました。

出前授業を通じて、児童らの米作りについて興味関心を引き出し、これから行う作業に向けての意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し食育活動を支援していきます。

南国市営農改善会総会の開催～南国市の生産振興に向けて～



会議風景

5月26日にJ A 南国営農経済センターにおいて南国市の農業生産振興のための南国市営農改善会総会が開催され、J A、農業共済組合、南国市、県関係の32名が参加しました。

今回は、昨年度に生産者と共に取り組んだ19課題の実証結果と収支決算、今年度に取り組む24課題の内容と収支予算、並びに国営緊急農地再編整備事業後の営農推進を見据えた取り組み体制の強化を協議しました。

今年度は、栽培技術、新品種に加え、スマート農業の課題もあり、生産者、J A、関係機関の連携した取り組みが求められます。

農業改良普及課は、今後も生産者と関係機関の連携を図りながら、産地振興に向けた取り組みを支援していきます。